

■普通、多様性って？

10日（水）は掃除なしのロング昼休みでした。寒い中でしたが、太陽の日差しの下、たくさん子どもたちが元気いっぱいにグラウンドで、ドッチボールやサッカー、一輪車、鬼ごっこ等で遊んでいました。「子どもは風の子、元気な子」を思わせるいい光景でした。

さて、6日（土）に行われたPTCA地区別研究大会で、次のような話を聴くことができました。

2007年のことになりますが、日本の野外で43年ぶりにコウノトリのヒナが誕生しました。5月20日のことです。通常、コウノトリのヒナは、飼育下では約2か月で巣立ちをします。しかし、7月20日頃になっても巣立つ気配がありません。さらに1週間が過ぎても巣立ちません。巣立ちを待っている人たちは、「親が甘やかし過ぎなのではないか」「ヒナはどこか悪いところがあるのではないか」と焦りました。その矢先の7月31日に、幼鳥は真っ青な空に向かって飛び立ちました。当時、飼育員だった松島興治郎さんは「皆、早いとか遅いとか言うけど、巣立ちは決して遅くなかった。あの子にとっては普通だった。」

それぞれの「普通」があること。それを理解することが、多様性を受け入れる第一歩です。平均主義に陥り、平均・普通と比べて、早い・遅い、高い・低いではなく、一人一人を大切にすることはどういうことなのかを悩み、考えていくのが豊岡の教育です。

学校子どもたち、地域子どもたち、それぞれの「普通」を受け入れる学校づくり、地域づくりをここにお集まりの皆さん（学校関係者、PTA関係者、地域の皆様）と一緒に考えていきましょう。



これまで私は、ややもすると、自分の今まで受けてきた教育が「普通」と決めつけてしまい、それぞれの持ち味や個性を「普通ではない」と思う場合があったかもしれないと反省しました。

府中小学校には141人の子どもたちがいます。それぞれに持ち味・個性があり、得意なこと、苦手なこと等も様々です。あすから予定されている個別懇談会で、学校での頑張りをお伝えすると同時に、お家での姿を教えていただき、今後の教育に役立てていこうと思います。どうぞよろしくお願いします。

（校長 山本 考一）


「とよおか歩子ポイント」の府中小への寄付が7,652ポイント（12/15時点）となっています。ご協力いただいている保護者や地域の方々、本当にありがとうございます。

今後とも、どうぞよろしくお願いします。



ダウンロード
はこちらから
どうぞ。



校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード：)

学校教育目標「自分を伸ばす みんなで高め合う 府中っ子～「自分事」「自分たち事」となる学びの創造～」

PTA スローガン「絆とつながり～学校と地域で子どもたちの未来を育む～」